

鳥取北ロータリークラブ Rotary

THE ROTARY CLUB OF TOTTORI NORTH 2023 ▶ 2024

例会場: ホテルモナーク鳥取 例会日: 火曜日12:30~13:30

国際ロータリーのテーマ



● 会長……入江 容子 ● 副会長……………水野 治郎

● 幹事……田村 博信 ● 会計……………植田 哲朗

● SAA……米田由起枝 ● 広報・プログラム委員長…田中 英剛

世界に希望を生み出そう

■ 創 立: 昭和36年2月23日

■ 事務所: 鳥取市扇町22-1 山陰合同銀行鳥取駅南ビル

Tel.24-3536 Fax.29-6741

E-mail kitarc@infosakyu.ne.jp http://www.infosakyu.ne.jp/kitarc/

2023年10月31日(火)

第3003回

本日の例会

◆ ロータリーソング
鳥取北RCの歌

◆ 献立
秋の味覚弁当

◆ 委員会事項
入会記念日御祝

◆ 卓話
地区大会の報告

2023年11月7日(火)

第3004回

次回の例会

◆ 君が代・奉仕の理想

◆ 献立 和食

◆ 委員会事項
誕生日御祝

◆ 卓話
聖神社 宮司
松田直也 氏
※例会終了後、定例理事会
「梨花の間」

先週の例会

2023年10月24日(火)

会長挨拶

地区大会にご参加の皆様、お疲れ様でした。色々収穫のあった地区大会であったと思います。

また各クラブのパネル展示では、鳥取北ロータリークラブは里山事業を中心にそれと共に高知北クラブとの交流も展示し、多くのロータリアンに見ていただいたと思います。本年も里山事業を引き続き行いますので皆様のご協力をよろしく願います。

地区大会前日に行なわれた地区指導者育成セミナーに田村幹事と参加いたしました。

高崎ロータリークラブの田中久夫氏による「クラブとロータリアンの成長のために必要な4+1ステップ」と題する基調講演があり、クラブの成

長のためには例えばリーダーは情熱を持って、又楽天的に、日々頑張ることと述べられました。ロータリーの魅力、活動の基本は例会であり、居心地のいいクラブ作りを目指し楽しみましょう。

「奉仕はお金のある人がすることではなくて、心のある人がすることなのです」

ロータリーの魅力は自分磨きの旅です。

人生をエレガントに過ごすことです。そうして品格の完成を目指しています。



◀地区大会 10/22 松江

幹事報告

1 到着文書

1) 石倉ガバナー事務所より、地区大会前日の指導者セミナーデータ

2) 米山記念奨学会より、米山月間資料

2 例会変更・メイクアップ情報

米子東RC

11/ 1 (水) 友好クラブ合同例会

12/ 6 (水) 移動例会

12/13 (水) クリスマス家族会

ビジター受付 定刻定例会場

11/ 8と11/22 (水) 休会

3 その他連絡事項

・R財団里山整備事業予備日 11/30 (木)

・東部5RCポリオイベント 11/19 (日) 予定

・ロータリー研究会20万円振込み

・その他理事会報告

委員会事項

◎出席率報告

10月24日 会員47名中 出席33名
(うちZOOM出席1名) 出席率 70.21%

◎グルメの会 (松永幹事補佐) より

11月16日 (木) 18時からグルメの会を行います。
参加申込の締切は10/31 (火) です。

メイクアップ

10/22地区大会 入江容子さん 田村博信さん
植田哲朗さん 笹野真紀さん 霜村哲男さん

谷口昭二さん 寺本光孝さん 秦野諭示さん
福田 収さん 松本啓介さん 水野治郎さん
森下泰年さん 森本美明さん 米田由起枝さん
小林弘尚さん 中尾仁徳さん 千金周一さん
田中英剛さん

スマイル報告

(本日12,000円 累計 270,500円 前回 258,500円)

入江容子さん 地区大会参加の皆様、お世話になり有難うございました。

水野治郎さん 地区大会参加の皆様お疲れ様でした。大会の内容、道中の車中ともに楽しい一日でした。

田村博信さん 地区大会参加の皆さん、お疲れ様でした。少し早いですが、来年は10月6日(日)岡山ドーム開催です。

植田哲朗さん 松江の地区大会にご出席の皆さん、お疲れ様でした。入江会長、田村幹事は2日間ご苦労様でした。

松本啓介さん 地区大会参加の皆様、講演も面白く、帰りのバスの旅、楽しかったですね。年末忘れ家族会の景品も楽しみです。参加されなかった皆様には何のことか分からないと思いますが。

田中英剛さん 来週、再来週と休みます。高知北RCでメーキャップしてきます。楽しんできたいと思います。

山根京子さん 地区大会参加の皆様お疲れ様でした。天候に恵まれ、講演も有意義でした。

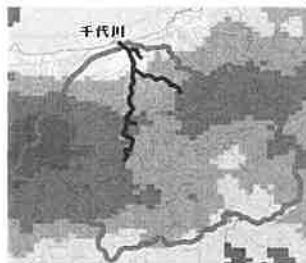
※2大御祝(本日0円 累計44,000円 前回44,000円)

卓話

「台風7号による河川増水と対応」 道上正規さん
台風7号による豪雨

台風は8月15日午前、和歌山県に上陸後、近畿地方を北上し、岡山県と鳥取県で線状降水帯を発生させました。千代川流域では、8月15日・16日の流域平均雨量は327mm/48hrにのぼりました。特に、佐治では観測史上最大の降水量が観測されました。

下の図は降水量を示したものです。中央の曲がりくねった線が千代川です。千代川の西側(左側)に黒く塗りつぶした辺りが、大量の雨が降った佐治・三朝エリアです。それとは反対側(東側)のエリアは袋川の上流ですが、ここも大量の雨量でした。このように鳥取市の東と西で大量の雨が降り、それが千代川に流れ込みました。



千代川の状況

千代川は、行徳地点において、避難判断水位(5.90m)を超過し、最高水位6.32mを記録しました。用瀬地点においては、氾濫危険水位(4.00m)を超過し、最高水位4.31mを記録(観測史上最高)しました。

このような水位の上昇は、テレビなどの報道でご覧になったことでしょうか。しかし、記録的な大雨と出水にも関わらず、千代川本線においては、かろうじて水による大被害を免れました。これには幾つかの理由があったので紹介します。

中橋の撤去

川の水位が橋げた近くまで上昇すると、上流から流れてきた木材などでせき止められ非常に危険になります。そこで、用瀬にある中橋を撤去する工事を、鳥取市が令和4年11月から始め、今年5月末半分の撤去が終わりました(下図)。この工事が台風前に終わったおかげで、この度の豪雨でも水位が抑えられ氾濫に至らなかったことができます。残り半分の撤去工事は来年の5月までに実施される予定です。そして、最終的に0.7mの水位低下が見込まれます。



<現在、橋の左側は撤去工事済みの状態>

ダムによる治水効果

台風7号の影響で殿ダムでは流域平均累加雨量が350mmを観測しました。殿ダムへの流入量はダムが完成した2011年以降最大でした。

しかし、殿ダムの洪水調節によってダム下流の中郷橋付近では約80cmの水位低下が図られました。これは殿ダムが水を溜めて水位を抑えた結果です。

むすび

今回は、大変な豪雨にもかかわらず、千代川流域では著しい被害が極小に抑えられました。これは、これまでの治水事業のおかげですし、住民の皆さんが状況を理解して避難された結果と言えます。

しかし、これで安心できるわけではありません。実際、佐治川以外でも非常に危険な川が市内にありました。

人命を助けるための治水事業を進めないといけません。それだけでなく我々住民としても、状況を正しく判断して避難する、川を見に行ったりしない、命を守る行動をとることによって災難回避を心がける必要があります。

(担当 秦野諭示)